

勝浦市議会だより

みんなのギカイ

2015年 第152号 平成26年12月議会についてお知らせします

特集記事

対談！

**武大生
と
市議会**

市議会の役割
って何だろう？

特集「武大生と市議会」 2P・3P
審議結果 4P・5P
委員会活動報告 6P
一般質問 7P～11P
編集後記 12P

平成27年2月
勝浦市議会報
編集委員会
0470-73-6662

武大生 と 市議会

リニューアル後初めてとなる特集記事は、国際武道大学生との対談です。勝浦市の人口の10%を占める武大生の意見は、市議会にとっても重要です。

さて、今回はどのような意見が飛び出すでしょうか？



議会との距離感を感じます。

市民と議員が交流できる場を増やせたらいいですね！

【市の行事に参加したことは？】

夏の花火大会に参加しています。ビッグひなまつりや大漁まつりなどは見学に行かせてもらっています。また、大学の部活で各種行事やイベントなどのボランティアスタッフをやらせていただいています。

【議会の役割を知っていますか？】

予算や条例を決めること。よくテレ

ビで見えるのですが、茶色の部屋で、たくさんの方が並んでいて、そこで活動しているイメージしかありません。本当に細かいことはよくわからないです。普段、自分が生活していくうえで、あまり係わったことがありません。

【市役所に来たことは？】

ボランティア活動のため観光商工課へ行った事があります。他には、住民票を移すときに行きました。友達が水

道料金を払うときに付き添いで行ったこともあります。しかし、ほとんど行ったことはないですね。

【勝浦市の魅力は何ですか？】

海や山の綺麗さ、食べ物のおいしさはもちろん、「人」に魅力があると思います。自分のアパートの周りの住民の方は、何でも話しかけてくれるため、挨拶もしやすく住民同士、一人ひとりが近いなという感じがあります。



【もっと魅力的な市にするには？】

武大生は、部活をやっている夜が遅くなることが多いのですが、店が閉まる時間が早かったり、店の種類も少なくて困ったりするので、そういうところを改善して欲しいと思います。老若男女問わずもう少し気軽に交流できるような所があればいいと思います。お互いによく交流できる場が設けられれば、もっと素敵なものになるのではないかと思います。

【勝浦市に住み続けたいですか？】

大学を出て、勝浦を離れるのはちょっと寂しいかなと思います。実家が東京で人が多かったり、ビル街だったり、落ち着かないんですよ。勝浦は、すごく落ちつく場所なので・・・しかし、勝浦だと就ける仕事が決まってしまうので、そういった意味では都会の方が住みやすいし、勝浦に住み続けるのは難しいと思います。

【勝浦市議会のイメージは？】

議会に対してすごく距離感を感じるというのが現状です。学生は、議会をイメージしづらいです。ですから、今回の対談はとても勉強になりました。こういうちょっとしたきっかけで、議会に興味をもっていただけたらいいと思います。そしてこれを機に、市民と議員が互いに交流できる場を増やせたらいいのではないかと思います。市役所へ行く機会が少ないということもあるので、もうちょっと距離を縮められたらいいと思います。

【議員のイメージは？】

勝浦は、海もあって、自然に溢れていて、人も温かいイメージがあるので、議員の皆さんも優しいイメージがあります。普通に生活しているうえで、僕の場合は関わることが本当になくて、今回もこのような対談が決まったとお聞きしたときは、正直不安でした。一般の方もいきなり話してと言われても緊張してしまうのかなと思います。やはりそれだけ市民との間に距離ができてしまっているのかなと思います。

平成26年12月定例会 審議結果

○12月定例会 会期
12月1日～12月11日
11日間

勝浦市議会ではこんな事が決まりました！

●審議案件一覧

- 議案第55号 専決処分の承認を求める事について（平成26年度勝浦市一般会計補正予算）
- 議案第56号 勝浦市情報公開条例及び勝浦市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第57号 小高御代福祉基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第58号 勝浦市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- 議案第59号 勝浦市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
- 議案第60号 勝浦市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- 議案第61号 勝浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第62号 勝浦市地域包括支援センター条例の制定について
- 議案第63号 勝浦市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について
- 議案第64号 平成26年度勝浦市一般会計補正予算
- 議案第65号 平成26年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算
- 議案第66号 平成26年度勝浦市介護保険特別会計補正予算

今議会報より、議会中審議された全ての議案の中から、市民生活と深く係わる議案をいくつか取り上げて重点的にお伝えする形式となりました。

審議された全議案については、勝浦市ホームページをご覧ください。局までお問い合わせください。

●トピックス その1

福祉基金が充実します！

議案第57号 小高御代福祉基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について

小高御代福祉基金は、故小高御代氏の遺言に基づき設置された基金です。その目的は福祉の充実であり、基金は母子家庭に対する児童の入学祝金及び就職祝金の支給や、心身障害者児に対する福祉手当の支給、高齢者の福祉に資する事業に充てられます。

今回新たに勝浦ホテル三日月から3千万円、鴨川ホテル三日月から1千万円、勝浦ゴルフクラブから1千万円の計5千万円の寄付があったことから、基金の積み立てを行う条例改正を行いました。これにより基金の積み立て総額は3億6千3百万円となります。



●トピックス その2

出産育児一時金の額が変更されます。

議案第61号 勝浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

法改正に伴う条例の改正に伴い、国民健康保険被保険者の出産育児一時金の支給額が変わります。これまでは被保険者が出産したときは出産一時金として39万円が支給され、必要な場合は規則により上限3万円まで加算となっていました。改正後は、被保険者が出産したときは出産一時金として40万4千円、必要な場合は規則により上限1万6千円まで加算という計算方法となりました。

支給可能総額は変わっていませんが、規則に基づく審査があります。詳細は市役所窓口までお問い合わせ下さい。

市役所市民課
七三一六六一



●トピックス その3

勝浦市芸術文化交流センターで映画を上映します！

議案第64号 平成26年度勝浦市一般会計補正予算について

昨年12月に落成した勝浦市芸術文化交流センター（通称キュステ）において、定期的に映画を上映します。キュステは最新の音響施設を備えたホールであり、映画上映にも適しています。県内の映画館と提携し、人気作品や過去の名作等を上映予定です。最初の上映は3月中の予定です。映画上映委託料として64万8千円が予算に計上され、入場料収入として60万円が歳入に計上されています。



●トピックス その4

子ども・子育て支援新制度が始まります！

議案第58号 勝浦市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

議案第59号 勝浦市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

議案第60号 勝浦市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

国が定める「子ども・子育て支援制度」の4月からのスタートに向け、勝浦市でも新制度に合わせた条例改正を行います。新制度には認定こども園の普及や、家庭的保育等の多様な保育事業の確保、地域の子育て支援策や予算の拡充等が盛り込まれています。

勝浦市においては現在認定こども園の整備計画を策定中であり、計画が固まり次第市民の皆さんに向け広報していく予定です。

各常任委員会・特別委員会等の活動報告

議会報編集委員会

ピックアップ!

議会報編集委員会は、市議会だよりの発刊を通じ、市民と市議会のより良い関係づくりに寄与する事を目的とし活動しています。しかし、これまでの勝浦市議会だよりは決して読みやすいものとは言い難く、また市民から改善の要望も多かった事から、当委員会では誌面の改訂についての研究検討を重ね、1年間の期間を経て、今回誌面の全面リニューアルとなりました。

誌面上で議会での議決事項を事務的に全て知らせる事は不可能ですし、可能であっても字数ばかりが増え見辛くなってしまいます。そのため、必要な情報を絞り、分かり易く表示する事、また「議会でしか出せない情報」「より議会に親しんで頂くための情報」の掲示を心がけました。

勝浦市議会の意志や活動状況を市民に分かり易く伝えると同時に、市民が知りたい市議会の情報を的確に把握し、それに応える事により市民一人一人が市議会への関心を高める事につながる広報誌づくりとすること。

そして、市民・議会との双方向性を意識した誌面づくりを行い、開かれた議会、市民に身近な議会を実現するため、新しい議会だよりを創ってまいります。



議会運営委員会

ピックアップ!

議会運営委員会では、平成26年6月より議員政治倫理小委員会を設置して、平成26年11月までに6回の委員会を開催しました。そして、平成26年12月定例会初日の議員全員協議会において、勝浦市議会議員政治倫理規程を提案しました。会議では全会一致で承認され、平成27年1月1日より施行されました。

倫理規程は第1条（目的）から第8条（委任）まで定められていますが、その内容は、市民の代表者としての基本的な規範や基準で構成されています。具体例としては、市議会議員が市税や公共料金の滞納者となったり、身体に刺青をすることなど、議員としての品位と名誉を害する行為、社会規範に反する行為は認められません。

（政治倫理基準）第3条 議員は、次に掲げる政治倫理基準を遵守しなければならない。

- (1)市民の代表者としての品位と名誉を害するような一切の行為、また社会規範に反するような一切の行為を慎み、その職務に関し、不正の疑惑をもたれるおそれのある行為をしないこと。
- (2)市民全体の奉仕者として行動し、その地位を利用していかなる金品の授受等をしないこと。
- (3)市が行う許可、認可又は請負その他の契約に関し、個人又は特定の企業、団体の為に有利な取り計らいをしないこと。
- (4)市職員の公正な職務執行を妨げ、権限や地位による影響力を不正に行使する様な働きかけをしないこと。
- (5)市職員の人事に関し、不当な関与をしないこと。

市政の目玉が聞きたい

一般質問



土屋 元議員

12月3日

黒川民雄議員
寺尾重雄議員
鈴木克己議員
藤本 治議員

- ①市長就任時公約(平成23年7月)の実現状況を踏まえた上での今後の取り組み方針について
- ②山口市政の継承を終え、来期以降の市政に向けて勝浦市の主要課題と課題克服について
- ③国の地方創生戦略をどう受け止め、それを勝浦市政にどう反映させるのか。リーディングプロジェクトの一つである「観光振興によるにぎわいのあるまちづくりの推進」にどうリンクさせていくのか。
- ④市民と行政の協働によるまちづくりの推進について
- ⑤防災対策・消防団について
- ⑥勝浦市の遊休市有地の今後の活用策について
- ⑦国策の「地方創生戦略」に対応した施策の方針について
- ⑧鳥獣被害防止対策について
- ⑨山ビル対策について
- ⑩水道料金の値下げについて
- ⑪自衛隊員募集の懸念事項について
- ⑫勝中グラウンドへの保育所仮園舎の建設について
- ⑬「ミ袋代値下げ」と「ミ」の減量化について
- ⑭脱原発・温暖化と地域資源の発掘と活用
- ⑮消費増税と介護保険の改悪から住民を守る

12月4日

佐藤啓史議員
磯野典正議員
刈込欣一議員
戸坂健一議員

- ①小児医療の充実について
- ②電気自動車の充電スタンド設置について
- ③MICEによる地域振興について
- ④中学校の教育環境について
- ⑤教育環境について
- ⑥子ども子育て支援新制度について
- ⑦市内小学校の再編計画について

一般質問の記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。全文は勝浦市議会会議録をご覧ください。



土屋 元議員
(自由改革クラブ)

猿田市長、次回7月の市長選挙に立候補表明

Q 実行力のある市長は、次期市長選挙に出馬されるのかどうかお聞きします。

私も就任以来前山口

A 市長の遺志を引き継いで、特に元氣な勝浦をつくらうとの思いで精神誠意、全身全霊、スピード感を持って市政運営にあたつてまいりました。

課題解決に向け先頭に立つて勝浦の魅力や、勝浦らしさを一層輝かせて発信し、引き続き勝浦の未来づくりを進めてまいりたいと強い思いを抱いております。

児童の通学安全対策に黄色の児童用ヘルメット着用提案について

Q 行政視察先にて黄色の児童用ヘルメットを導入している事例に触れ、勝浦市にも導入の検討をしていただきたく

対策についてお伺い致します。

A 校長会議の席で各学校の中で保護者と一緒

Q 勝浦市にしかできないことを提案して国が支援していただけると伺っています。

A 勝浦市にしかできないことを提案して国が支援していただけると伺っています。

そこで国際武道大学が9月に実施し、感動を与え

国に提案し、国際武道大学を、国際友情外交の重

要な日本の発信基地にする。

大学の建学理念、「武道」によって・・・国際友情の大道を築こう」にまさに合致し、勝浦市にしかできない、国際友情外交勝浦創生プランとして、毎年度「武道演武団」派遣予算を獲得して実施、市も観光交流増のきっかけになると思つていますが。

A 国際武道大学は、いろいろな分野で協力ご支援いただいております。近々包括協定を結ぶ予定でございますので、その中で可能かどうか含めて検討してまいりたいと思つています。



日本・ポリビア国交樹立100周年事業・外務省認定事業の「国際武道大学武道演武団」2014/11/24 千葉日報



黒川 民雄議員
(共和会)

防災対策について

Q これまでに設立された自主防災組織が地域性に合った活動を展開するには、知識と技術が必要であり、そのための指導者、防災リーダーが必要であります。また、自主防災組織だけでなく、市においても防災活動の対応職員にあっても十分な防災知識が必要と考え、防災知識、技能を取得できる防災士資格を自主防災組織や市職員に取得させ、地域防災力向上をすべきと考えるが、市の見解は。

A 地域の自主防災組織設立の促進とあわせ、その自主防災組織の中核となる人材の育成が地域の防災力の向上に不可欠

であると位置づけており、防災士資格の取得につきましては、自主防災組織において防災意識の向上や、被災者支援と、被害の軽減に寄与することが見込まれる方や、市職員で防災業務等に従事する者を対象に支援につき、前向きに検討してまいります。

消防団について

Q 近年、全国的に展開され始めたのが消防団応援事業制度です。この制度は、消防防災活動を初めとする地域の安全・安心のために活動する消防団員を応援するため、地域のご賛同をいただいた事業所や販売店などに登録を

可能サービスを提供し、消防団への応援体制をつくり、事業所の皆様と消防

団員により地域を活性化させるというものです。平成24年11月6日に災害時応援協定を結んだ静岡県伊東市消防団では既にこの制度を実施しており、勝浦市におきましても消防団員確保と地域活性化を目指し、消防団応援事業制度を展開すべきと考えるが、市の見解は。

A 消防団員の確保と市内の事業所や販売店等の活性化につながるものとが見込まれますことから、静岡県伊東市の消防団応援事業制度を参考に前向きに検討させていただきたいと考えております。



防災訓練



寺尾 重雄議員
(自由改革クラブ)

国の地方創生戦略を漁業の振興策への活用について

Q 沿岸漁業者が中心の新勝浦市漁業協同組合の漁業者は、非常に大変な経営状況です。創生戦略を、起爆剤として漁業関係の創生をどの様に考えておられるのかお聞きます。

A 昨今、燃料の高騰、漁業者の高齢化などで所得もなかなか向上していかない状況です。漁港の施設とか今後のあり方について相談しながら事業を進めていきたいと思います。

Q 鰺南町の番屋のようなフィッシャーマンズ市場の振興策について

A 行政視察で南紀白浜の堅田漁組経営の

「これとこれ市場」を視察して年300万人の来場者、売上50億円のような市場が、今後の新勝浦市漁業協同組合の活性化につながると考えますが如何ですか。

A 地方の雇用の場確保、地方の方で生活しやすい環境を整備する。その一つとして漁港の活用方法、フィッシャーマンズワーフのような雇用の場の確保という意味において非常に重要なことだと考えます。

勝浦駅北口の開発計画について

Q 駅北口にあれだけの土地を有している勝浦市は、何処よりも開発していったときの価値観があり、その活用方法などの様に考えるのかお聞きます。

A 駅に隣接していて、立地ポテンシャルも非常に高いと思っていま

関谷の運動公園計画について

Q この計画は、16年もたっている計画であり、今後どのように進めていけるのかお聞きます。

A 排水に相当な予算がかかるということでは、凍結しておりました。今後は、再検討しながら29年度に事業推進をしたいと考えております。



雇用の創出の場としての活用が待たれる勝浦駅北口市有地



鈴木 克己議員
(新創かつうら)

有害鳥獣被害防止対策について

Q 本年度実施の鳥獣被害防止対策について

具体的に説明してください。

A 狩猟期間を除いた期間の18日間、猟銃による一斉捕獲の実施とともに、一年間を通して、く

くりわなや箱わなによる捕獲を行い、個体数の削減に取り組んでおります。また、簡易電気柵などの設置を行い、農林作物の被害防止の解消に努めております。

Q 現行の防護柵設置に

関する補助事業採択基準は、市の農業の現状に適していない。

このため採択基準に合致しない事業については

全て自己負担で行わなければならない状況ですが、小規模な防護柵事業に対して市が単独で補助することが出来ないか伺う。

A 農作物を有害鳥獣から守ることは重要なことでありますので、国庫補助要件の緩和や県補助事業による防護柵設置事業について県に要望してまいります。

山ビル対策について

Q 山ビルの発生が大きな問題となっている。

これまでは清澄山系に近い山林内や農地と里山の境界付近での生息状況であったものが、今では人の生活圏まで広がっている。山ビルの生息域拡大の要因と生息域の状況について伺う。

A 山ビルを運ぶ二ホン

ジカやイノシシなどの野生動物が増加し生息範囲が拡大したことが要因であり生息域は国道297

号から西側の上野地区と総野地区、興津地区の一部で確認されている。

Q 一日清掃の際に、山ビルによる吸血被害

があった。人の生活圏にまで拡大している山ビルに対する対策として、市の行事や地域の活動に対して山ビル防除忌避剤の配布を検討いただきたい。

A 山ビルの生息や被害防止対策について、

自己防衛の方法等を広報等を通じて周知します。



有害鳥獣被害防止用電気柵



藤本 治議員
(日本共産党)

水道料金の値下げについて

Q 九十九里及び南房総

広域水道企業団と県営水道の三者の統合の日程に変更はありませんか。

A 1月末までに最終意向調査が実施され、

構成団体全27団体の賛同が得られれば、来年度から第1ステップである経営統合が進められる。その後、5年を目途にゴールである事業統合に進むスケジュールです。

Q 市長は以前、ひと

び一般会計から水道会計に繰り入れを行うと、やめられなくなるのでやらないと表明しました。しかし、三者の統合が成立した暁には、1億円余りの経費削減の効果が生

まれ、料金引き下げの財源が出来るわけですから、一般会計からの繰り入れを統合までの期間で止めても新たな財源で値下げを継続できるのではないですか。

A 今の状況では財政事情が非常に厳しいので出来ないということでは

す。

Q 市民が水道料金の値

下げを切望しているのは県内一高い料金だからであり、県内に際立つ

た格差があるからこそ、三者統合の動きも起きている。数年先の統合の前に、ただちに料金引き下げの努力をすべきだ。市民からの署名が100筆を越えていることをどう受け止めるのか。

A 財政見通しは非常に

厳しいということでは、今は出来ない。もうちょっと我慢していただきたい。

勝中グラウンドへの保育所仮園舎建設について

Q 認定子ども園整備計画にどういった見直しが行われるのか伺います。

A 勝中のPTA及び生徒へのアンケートの結果を真摯に受け止め、勝中グラウンドへの仮園舎の建設を白紙に戻すことにしました。これに伴い、今後、仮

または本園舎の建設場所、さらに建設工事の実施時期について、整備計画を再検討する考えです。



佐野浄水場



佐藤 啓史議員
(新創かつうら)

小児医療の充実について

Q 昨年度実施された子ども・子育て支援二
ーズ調査の結果から小児
医療体制の充実が求めら
れていることに対する市
の見解は？

A 小児科病院等の充実
を望む声が多いこと
を実感した。今後は小児
医療体制の充実が図られ
るよう、勝浦市医師会に
対して要望したい。

Q 市内で小児医療を行
う医療機関の数と医
療体制は？

A 小児科を診療科目と
して標榜している医
療機関は3つであるが、
その他の医療機関でも小
児診療を実施している。

Q 勝浦診療所での小児
診療についてお聞き

する。

A 子どもが来院した際
には診療を行ってい
るが、専門性を要する疾
患や重症な疾患の場合は
専門医を受診するよう説
明している。

Q 電気自動車の充電スタ
ンドの設置について

A 人が多く集まる場所
や施設で電気自動車
の充電スタンドが設置さ
れている。市営駐車場に
電気自動車の充電スタン
ドの設置を提案する。

A 設置の必要性は感じ
ているが、電気自動
車の普及状況や民間企業
の設置状況を見ながら、
公共施設への設置の必要
性を検討したい。

Q MICEによる地域振
興について

A MICEについての
市の見解とMICE
の観点からのキュステの
利用、活用方法について
市の見解をお聞きする。

キュステの規模で開

A 催可能な各種団体等
の県大会や、全国大会レ
ベルの会議場としてキュ
ステのPRに努めていき
たい。

※MICEとは、ミーテ
ィングのM、インセンティ
ブツアーのー、コンベンシ
ョン又はカンファレンス
のC、エキシビションのE
の頭文字を取った造語で
経済効果の大きいビジネ
ス関連イベントのこと



電気自動車の充電スタンド



磯野 典正議員
(新創かつうら)

中学校の教育環境(統 廃合)について

Q 中学校の統廃合につ
いての説明会、会議
等が26年度どの程度行わ
れ、また住民説明会やア
ンケートなどを行った状
況はどうだったのかにつ
いてお聞きします。

A 会議の開催について
は【勝浦市学校再編
調査検討委員会】を設置
し8月・11月の2回行い
ました。アンケートにつ
いては平成25年度に興津
中学校・北中学校の保護
者、学校職員を対象に行
いました。

Q 昨年の12月議会で教
育長答弁のなかに、
市民に統廃合に向けた会
議の進捗状況を公開する
情報の公開の場を検討す

ると回答いただいたが、

その状況についてお伺い
します。

A 勝浦市学校再編検討
委員会から今年度末
までに中学校の学校統合
についての提言をいただ
く予定です。その後、その
内容をホームページ等で
公表するとともに、その
後の進捗状況についても
随時公表していきます。

Q 10年後の各中学校の
生徒数のどのくらい
の人数になることが予想
されるかについてお聞き
します。

A 2024年の各中学
校の全校生徒数は、
興津中学校41名・北中学
校60名・勝浦中学校168名。
勝浦市全体で269名と推計
されます。

Q 教育委員会として、
何年度から統廃合を
計画し、どこ中学校を
利用しようと考えている
のかについてお聞きしま

す。

A 平成29年4月には、
勝浦中学校を使用し
統廃合したいと考えてい
ます。

Q 統廃合された後の中
学校の跡地利用につ
いての検討はされている
かについてお聞きします。

A 現在はまだ検討され
ていないが、今後、庁
内の市有地活用庁内検討
委員会を検討する予定で
す。



勝浦中学校



川込 欣一議員
(新世会)

小学校の統合について

Q 何故今市内で小・中学校の統合をしなればならないのか。

A 市内小学校では児童数の減少に伴い、何校かの小学校では、複式学級も発生しており、今後さらに複式学級が増え、いくことが予想され、学校現場からも競争心の希薄化や多様な見方、考え方に触れる機会が少なくなる等の問題点もだされており、更に部活動や学校行事の運営等についても問題が生じていると伺っております。また各学年1クラスのため、生徒指導を配慮した学級編成ができず、生徒への対応に大変苦慮している状況です。この様な状況からも、

学校現場からも、早期に学校統合を行ってほしいという要望がございます。教育委員会としても一定規模があることにより子供達が集団の中で、多様な考えに触れ認め合い、協力し合い切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力を更に伸ばしやすくなると考えております。この様なことから統合を行い子供達の教育環境整備に努めてまいります。

Q 複式学級のメリット、デメリットについての見解は。

A メリットは、上の学年の児童が下の学年の児童を教えること。学年間交流ができること等。デメリットは、一方の学年を指導している間も一つの学年が自習扱いになり、きめ細やかな指導がしづらくなってしまう。2学年の授業の準備する

ことで教師の負担が大きくなる事等がある。

Q 清海小学校区のアンケート結果は。

A 平成26年1月・統合に賛成やむを得ない83%、反対12%でした。平成26年9月・統合先は興津小20名、上野小26名望むという意見でした。

Q 清海小学校区の統合先及び統合年度についての見解は。

A アンケート調査を踏まえ統合先は上野小学校、統合目標年度は全学年が複式学級になってしまう平成28年4月と考えています。



清海小学校



戸坂 健一議員
(新創かつら)

子供子育て支援新制度とこども園について

Q 認定こども園への移行や新制度について

未だに知らない市民が多くおられる。今後の市民への周知の方法とスケジュールについて伺う。

A スケジュールについては、現在こども園の整備計画を再検討中である。決定次第制度と共に公表予定。周知については、これまでも回覧文や市民説明会を通して十分説明してきたが、今後

も広報などを活用し周知を徹底していきたい。

Q 認定こども園における保育料について、市町村毎に定めることとなるが、どのような基準で定めるか。

認定こども園において、市町村毎に定めることとなるが、どのような基準で定めるか。

A なるべく現在の保育料を維持したい。

Q こども園の設置にあたり、教育課と福祉課の二重行政の解消と効率化を図る為に「子ども課」のような新たな担当課を設置する必要があるのでは。

A 係員や係の設置等職員体制の充実について検討していく。

Q 市内小学校の再編計画について

郁文小学校について今後の再編計画はどうなっているか。

A 勝浦小学校との統合を予定していたが、保護者や住民の理解が得られない状態での無理な統合はしない。今後各委員会の中で慎重に検討していく。

Q 市民の混乱を避ける為に、市内学校再編の予定や方法を示した「再編計画」を策定し公

表する必要があると考えるが如何か。

A 住民理解を得る為にも計画の公表は必要であると考えてる。

Q 小規模校の良さを人数教育の利点を活かした教育を存続する為に、特別に市内全域から転入学を認める「小規模学級特認校」を認定しては如何か。

A 認定の考えは無い。小規模校では児童数の減少により競争心の希薄化などの問題点が出ている。市としては学校統合を進め、子供達が切磋琢磨出来る教育環境を整えたい。

小規模学級特認校の例
市原市立国府小学校



小規模学級特認校の例
市原市立国府小学校

きみの未来、あなたの未来

市内中学生に未来の夢を聞てもらうコーナーです。



「みんなのギカイ」では、市内の中学生が夢を語るコーナーを作りました。

議会報編集委員会は今後、中学生の皆さんからの投稿を募集していきます。中学生の皆さん、あなたの夢、あなたが思い描く勝浦市の「未来」を聞かせてください！

議会のうごきについて報告します
(平成26年11月～平成27年1月まで)

議会のうごき

11月4日	議会報編集委員会	12月5日	本会議 質疑
6日	全員協議会・全員説明会	8日	総務常任委員会
10～11日	建設経済常任委員会行政視察(長野県佐久市)	9日	教育民生常任委員会
17～18日	総務常任委員会行政視察(群馬県桐生市)	11日	本会議 最終日 議会報編集委員会
20日	11月臨時会・議会改革検討委員会	1月15日	千葉県南市議会議長会議員研修会(習志野市)
25日	議会運営委員会	27日	千葉県市議会議長会研修会(木更津市)
12月1日	12月定例会・本会議 全員説明会・全員協議会	28日	岡山県笠岡市議会行政視察来庁
3日	本会議 一般質問		
4日	本会議 一般質問		

編集後記

議会報編集委員会では、今号より勝浦市議会だよりを全編リニューアルする事と致しました！
新しい市議会だよりのコンセプトは、読んでみたくなる版面構成とする事、住民目線で読みやすい内容にする事、議会だよりにしかない情報を掲載する事、単なる会議録や活動記録ではなく「情報誌」のような読まれるものにする事、の4点です。

開かれた政治を実現するための手段として、議会だよりの果たす役割はとても重要です。
より良い市政を実現する為にも、また議会の活動を多くの方に理解して頂く為にも、議会報編集委員会委員一同、今後も明るく読み易く、親しまれる議会だより作りを志して参ります。

議会報編集委員会委員長 戸坂 健一

お問い合わせは、勝浦市議会報編集委員会(73-6662)まで

勝浦市ホームページ <http://www.city.katsuura.lg.jp>



QRコード
はここだよ！



勝浦ガッビー